

PRESS RELEASE

報道関係各位

2017年10月2日
株式会社ディノス・セシール

～ディノスの復興支援活動「東北に春をお届けします。」～
日本の未来を担う、子どもたちのために。
桜の植樹と教育支援を、今年度も引き続き実施。

株式会社ディノス・セシール（本社：東京都中野区）は、2011年度からスタートした、顧客参加型の復興支援活動「東北に春をお届けします。」を、7年目となる今年度も継続して実施します。福島での桜植樹と、東北の教育関連団体への支援を、昨年度に引き続き行います。

この取り組みは、ディノスで展開するカタログ「dinos with 2017-2018 冬号」から、売り上げの一部を東北の子どもたちの支援活動に充てるというものです。東日本大震災による甚大な被害からの復興支援のため、2011年10月にスタートして以来、現地の状況や要望に応じた支援を継続しています。

東日本大震災から6年以上が経過しましたが、復興は道半ばであり、子どもたちを取り巻く環境も未だ十分なものではありません。ディノスでは、子どもたちが将来への希望を持ち続け、自らの力で未来を切り開いていくことを願って、福島で国道および周辺地域に桜を植樹する「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」（現地パートナー：NPO法人ハッピーロードネット）、および、東北で活動する教育関連団体への助成を行う「ハタチ基金」（運営：公益社団法人ハタチ基金）を支援します。



「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」で、支援予定本数の一部を、福島県の国道6号周辺エリアに植樹した際の様子（2017年1月実施）。



「ハタチ基金」が助成する教育活動のひとつ、「コラボ・スクール女川向学館」での授業の様子。廃校になった小学校の教室で運営されています。

— 「東北に春をお届けします。」2017 年度実施概要 —

<実施内容・期間>

対象カタログ「dinos with 2017-2018 冬号」での、2017 年 12 月末までのお客様のお買いもの 1 回ごとに 10 円を、福島への桜植樹、および東北の子どもの教育支援団体への寄付に充てます。



<dinos with (ディノス ウィズ) >
2017-2018 冬号表紙

<支援先情報>

◆「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」

福島の子どもたちが 20 年後、30 年後の未来に誇れる場所となるよう、浜街道と呼ばれる国道6号線沿いへ、2 万本の桜植樹を目指しています。

・現地パートナー：NPO 法人 ハッピーロードネット <http://happyroad.net/>

◆「ハタチ基金」

「東日本大震災発生時に 0 歳だった赤ちゃんが、無事に ハタチを迎えるその日まで。」をコンセプトに、子どもたちに学び・自立の機会を提供することを目的として、復興状況や現地のニーズに合わせて支援活動をしている団体への助成を行っています。

・寄付先：公益社団法人 ハタチ基金 <http://www.hatachikin.com/>



<2016 年度までの支援実績>

- ◆桜植樹：757 本（2014 年度より開始。フジ・メディア・ホールディングスグループ各社、および取引先協賛含む）
- ◆「ハタチ基金」への寄付：1,931,185 円（2015 年度より開始）
- ◆花の苗の寄贈：68,416 鉢（2014 年度をもって終了）

<本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社ディノス・セシール 広報室 小森、中山 Tel：03-6743-1114/e-mail：pr@dinos-cecile.co.jp

<この商品に関する、お客様からのお問い合わせ先>

ディノス ハートコールセンター Tel：0120-343-774（9時～21時、携帯・PHS可）21時、携帯・PHS可

Dinos Cecile Co.,Ltd.